

効果検証シート

実施年度	交付金の種類	事業名			担当室
平成30年度	市単	赤目チャレンジステーション整備事業			観光交流室
事業実績額(円)		63,878,000			
総合戦略での位置づけ	プロジェクト名	元気創造プロジェクト			
	基本的な方向	地域産品、地域資源を活用した”名張ブランド”の創出/自然・食・歴史・文化などを活用した観光戦略の推進/シティプロモーションの展開			
	具体的な施策	多様な世代の転入促進を図る情報の発信及び移住に関する相談受入体制の強化 「訪れてよし」「住んでよし」「招いてよし」の観光都市 名張の実現			
事業期間		平成30年度			
事業の目的		赤目四十八滝キャンプ場として利用していた施設を様々なニーズに対応すべく「赤目四十八滝チャレンジステーション」として幅広い用途に利用できるよう機能向上を図るための新築・改修整備を行い、自然体験・移住体験はもとより、都市部住民の農山村体験や、大学のフィールドワークの受入にも対応できるよう整備を行います。 整備内容は、ベッドや空調設備を設置した宿泊棟4棟を新築し、調理等に外壁を設置します。			
重要業績評価指標 (KPI)	指標		基準値(H31.3)	R元年度目標値	R元年度実績値
	赤目四十八滝チャレンジステーションにおける研修を終えた新規就農者数		0人	前年比 1人増	0人
	赤目地域への年間転入者数		55人	前年比 2人増	43人
	赤目四十八滝チャレンジステーションの年間利用者数		3,306人	前年比 50人増	41人
平成30年度の取組概要		赤目四十八滝キャンプ場を幅広い利用用途に衣替えし、「赤目四十八滝チャレンジステーション」として整備を行いました。移住体験、農林業体験はもとより、都市部に住む子供たちの農山村体験の実施や、大学生によるフィールドワークの受入等に対応するため、宿泊棟、調理等を再整備し、機能向上を行いました。			
外部有識者による効果検証	検証の時期	令和2年7月			
	検証の体制	名張市地域活力創生会議による			
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・市外からの移住者20代男性独身のアンケートで、「自然にあふれ都会では体験できないようなことが身近にあり、赤目滝は忍者の文化にも触れることができ、キャンプなどのアウトドアもおすすめ」「バスフィッシングも楽しめる」「関西圏に近いというアピールポイント」といった回答があった。名張市の強みとして紹介したい。 ・西三重で見たときに、名張市が中心となっていけるようプラットフォームづくりが必要ではないか。 ・コロナ禍で旅行業界が影響が大きく、とくに外国人誘致が大きなダメージを受けている。国内需要も非常に重要であり、今後は遊ぶための観光だけでなく、最終的に移住定住につながるような展開も必要。 ・新たに就農しようとする、先輩の指導など支えになると思う。米農家は盛んなので仲間もできやすが、水耕栽培など極めて新しい農業は、ビジネスチャンスはあるが、非常に孤独だと思うので、市からの情報発信や支援などをしていただきたい。 			
結果の公表	令和元年9月以降 ホームページで公表予定				
市議会による効果検証の有無		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 （時期：令和2年8月）			
総合評価		地方創生に相当程度効果があった			
今後の方針	方針	事業の継続			
	理由	計画どおり事業を継続する			